

Shell Corena Oil P

シェル コレナ オイル P

ー高性能往復動型コンプレッサー油ー

シェル コレナ オイル P は、パラフィン系基油とナフテン系基油を効果的に配合した往復動型コンプレッサー専用の潤滑油です。

シェル コレナ オイル P は、吐出弁及びその周辺機器への炭化生成物の付着が極めて少なく、また、付着する炭化生成物も軟質で容易に除去可能なため、コンプレッサーの爆発等のトラブルを事前に防ぐことが出来ます。

■シェル コレナ オイル P の特徴

1. カーボン化傾向が少ない

パラフィン系基油とナフテン系基油を効果的に配合した極めてカーボン化傾向が少ない潤滑油です。わずらわしい吐出バルブの清掃回数は従来油と比べ大幅に削減できます。

メンテナンスを軽減し、経済効果も期待され、しかも炭化生成物の堆積による爆発トラブルなどの回避にも効果があります。

2. 水分離性に優れている

アフタークーラー、油分離器、廃水処理部分において優れた水分離性を発揮します。良好なドレン切れや容易な排水処理などに大きな効果があります。

3. 蒸発性が低い

圧縮空気中のオイルミストを低減し、オイル消費が少なく、クリーンな圧縮空気の供給が可能となります。

シェル コレナ オイル P 代表性状								
油種	項目	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
						@40℃	@100℃	
	シェル コレナ オイル P 46	0.864	232	−45.0	L0.5	46	6.9	105
	シェル コレナ オイル P 68	0.880	236	−32.5	L1.0	68	8.4	93
	シェル コレナ オイル P 100	0.884	234	−32.5	L2.0	100	11.0	94

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。(2019-01)

シェル コレナ オイル P の販売荷姿 : 200Lドラム 20L ペール缶
(46 は 20L ペール缶のみ)

■使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート (SDS) をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱ください。

＜取り扱い上の注意＞

- | | |
|--------|--|
| [安全対策] | <ul style="list-style-type: none"> ・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。 ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 |
| [応急措置] | <ul style="list-style-type: none"> ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。 |
| [保管] | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。 |
| [廃棄] | <ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。 |

Ver.2. 2019.1.10